

勝山市平泉寺町池ヶ原におけるギンイチモンジセセリの記録

大宮正太郎^{*1}

要旨：筆者は2020年6月7日に勝山市平泉寺町池ヶ原でギンイチモンジセセリ2♂を採集した。

キーワード：昆虫, チョウ目, セセリチョウ科

Shotaro OMIYA^{*1}. 2021. A record of *Leptalina unicolor* (Bremer et Grey) in Ikegahara, Heisenji-cho, Katsuyama-shi, Fukui prefecture, Japan. Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 24:37-38.

Leptalina unicolor (Bremer et Grey) was collected in Ikegahara, Heisenji-cho, Katsuyama-shi, Fukui Prefecture, Japan, on June 7th, 2020.

Key words: Insect, Lepidoptera, Hesperidae

ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor* (Bremer et Grey) (以下、「本種」) は、チョウ目セセリチョウ科 (Lepidoptera: Hesperidae) に属する小型の蝶類であり、外見的な特徴として和名の由来となる一文字状の白帯を後翅裏面に持つ (図1)。幼虫はイネ科のススキ *Miscanthus sinensis*, チガヤ *Imperata cylindrica*, オオアブラススキ *Spodiopogon sibiricus*, カリヤス *Miscanthus tinctorius*, エノコログサ *Setaria viridis*, ヨシ *Phragmites australis*, アイアシ *Phacelurus latifolius* などを食草とし、国外ではシベリア西部、中国大陸北部および東北部、アムール、朝鮮半島、国内では北海道、本州、四国、九州に広域的に分布する (福田ほか 1984)。しかしながら日本においては近年、生息地となるススキ草原の減少に伴い本種の生息域が狭まっており、2020年版環境省レッドリストでは「準絶滅危惧種 (NT)」とされている (環境省 2020)。

福井県においては、本種はこれまで大野市のみで生息が確認されており、「改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物」(福井県レッドデータブック) では評価するだけの情報が不足しているとされる「要注目種」として掲載されている (福井県安全環境部自然環境課編 2016)。福井県の隣接府県のレッドデータブックにおいては、石川県では「情報不足」 (石川県野生動物保護対策調査会 2020)、岐阜県では「準絶滅危惧種」 (岐阜県 2010)、滋賀県では「絶滅危惧種」 (滋賀県生きもの総合調査委員会編 2016)、京都府では「絶滅危惧種」 (京都府自然環境保全課編 2015) とされており、いずれの地域でも今後の環境変化によって生息が危ぶまれる種とされている。福

井県では既にゴマシジミ (本州中部亜種) *Maculinea teleius kazamoto* (H. Druce) やヒメヒカゲ (本州西部亜種) *Coenonympha oedippus arothius* Okada & Torii といった草原性チョウ類が県域絶滅の状態にあり (福井県安全環境部自然環境課編 2016)、本種についても今後同様にその生息が危ぶまれる可能性があるため、現在の生息状況を正しく把握しておく必要がある。

筆者は今回、本種を勝山市平泉寺町池ヶ原で採集したので次のとおり報告する。

2♂, 福井県勝山市平泉寺町池ヶ原,

2020年6月7日, 筆者採集・保管。

本報告で本種を確認した場所はススキが優占する乾性草原であり (図2)、六呂師高原と呼ばれる火山性高原の一角にある。本種はセセリチョウ類に普通に見られるような力強い飛び方とは一見異なり、弱々しくススキとススキの間を飛んでいたことや、色彩についても黒っぽく見えたことから、当初はシジミチョウ類と思って捕虫網にネットインしたが、捕獲した個体を見てその特徴的な斑紋から本種であると気がついた。飛び方の特徴を把握することで飛翔中の本種を識別することが可能となり、現地では採集個体以外にも、その後の探索でススキの合間を飛翔する個体を同時に3頭目撃している。

本種は寒冷地では年1回、温暖地では年2~3回発生する (福田ほか 1984) とされるが、福井県における発消長は不明であったため、8月24日と9月30日に現地を再探索したが、本種は確認されなかった。保全のための基礎情報を収集するため、本種の生息状況については今後も更なる調査が必要である。

* 連絡・別刷請求先 (Corresponding author) E-mail: s-oomiya-ov@pref.fukui.lg.jp

1 福井県自然保護センター 〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2

Fukui Nature Conservation Center. Minamirokuroshi 169-11-2, Ono, Fukui 912-0131, Japan.

引用文献

福田晴夫・浜 栄一・葛谷 健・高橋 昭・高橋真弓・田中 蕃・田中 洋・若林守男・渡辺康之. 1984. 原色日本蝶類生態図鑑 (IV). 保育社, 大阪.

福井県安全環境部自然環境課(編). 2016. 改訂版 福井県の絶滅のおそれのある野生動植物. 福井県安全環境部自然環境課, 福井.

岐阜県. 2010. 岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版ー岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版ー. <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/4261.html> (参照日 2020 年 12 月 20 日).

石川県野生動物保護対策調査会. 2020. 石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020<動物編>. 石川県生活環境部自然環境課, 金沢.

環境省. 2020. 環境省レッドリスト 2020 の公表について. <http://www.env.go.jp/press/107905.html> (参照日 2020 年 12 月 20 日).

京都府自然環境保全課(編). 2015. 京都府レッドデータブック 2015 第1巻:野生動物編. 京都府自然環境保全課, 京都.

滋賀県生きものの総合調査委員会(編). 2016. 滋賀県で大切にすべき野生生物:滋賀県レッドデータブック 2015 年版. 滋賀県自然環境保全課, 大津.

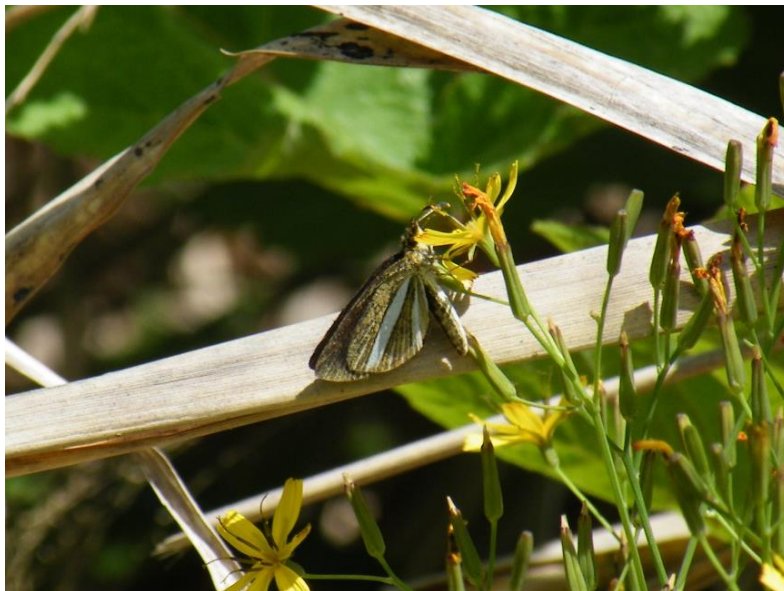


図1. ギンイチモンジセセリ♂ (勝山市平泉寺町池ヶ原, 2020 年 6 月 7 日, 筆者撮影)



図2. ギンイチモンジセセリ確認場所の環境 (勝山市平泉寺町池ヶ原, 2020 年 6 月 7 日, 筆者撮影)